

2010年3月9日

各位

オリックス不動産株式会社

神奈川県川崎市に複合商業施設を着工 ～環境配慮型商業施設『クロスガーデン川崎』～

オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：山谷 佳之、以下「オリックス不動産」）は、神奈川県川崎市にて環境配慮型の複合商業施設『クロスガーデン川崎』の建築工事に着手しますのでお知らせします。『クロスガーデン川崎』は、尻手黒川道路（神奈川県道14号鶴見溝ノ口線）沿いのレンゴー株式会社旧川崎工場跡地に、地下1階、地上4階建てで建設され、2011年春のオープンを予定しています。

『クロスガーデン』ブランド

施設名称の『クロスガーデン川崎』は、オリックスグループが開発する商業施設のシリーズ名称であり、「ヒト」と「モノ」が常に交差・共鳴する場であると同時に、心に潤いを与えてくれる身近な空間として、地域の方々に親しまれる施設でありたい、という願いをこめて決定しました。

多様なニーズに応える店舗

テナントは、食品スーパーマーケット「サミット」、家電量販店「ヤマダ電機」を始め、医療モール、グルメ、サービスなど約20の専門店を予定しています。

地域に密着したサービス

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷 英司）が事業展開する「カーシェアリング」の導入を予定しており、周辺地域の方々に利便性の高い、環境にやさしいライフスタイルのご提供を目指しています。

環境に配慮した施設

オール電化設備の導入、壁面緑化、太陽光パネルの設置、風力発電機付街灯の採用など、省エネ効果を考慮した施設造りを計画し、川崎市建築物環境配慮制度（「CASBEE川崎」）でAランク評価の取得を目指しています。

オリックスグループは、2008年に環境方針を策定し、2012年までの環境活動を「ECORIX2012（*1）」と定め、自らの事業活動の低炭素化を進めながら、お客さまにご提供するサービスを通じてお客さまの低炭素化を推進し、ひいては社会の低炭素化に貢献すべく活動を推進しています。今回の環境配慮型商業施設の開発もその一環です。

オリックス不動産は、全国に商業施設の稼働実績があり、今後も、オリックスグループのノウハウと情報力を総合的に活用し、便利で豊かな暮らしにつながる新しいライフスタイルの提案と、地域コミュニティの活性化に寄与し、地域に愛される商業施設の投資・開発を積極的に行っていきます。

（*1）ECORIXとは、ECO（環境）とORIXを掛け合わせた造語で、京都議定書第一約束期間終了年である2012年までのオリックスグループの環境活動の総称です。

<http://www.orix.co.jp/eco/environment/ecorix/ecorix2012.htm>

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

オリックス不動産株式会社 社長室 永井・中村

TEL：03-3435-3411

Press Release



【物件概要】

名 称	: クロスガーデン川崎
所 在 地	: 神奈川県川崎市幸区小倉字南耕地 1658 番 35 外
敷 地 面 積	: 約 13,328.56 m ² (約 4,032 坪)
延 床 面 積	: 約 34,107.32 m ² (約 10,317 坪)
構 造	: 鉄骨造 地下 1 階、地上 4 階 (屋上駐車場付)
着 工 時 期	: 2010 年 3 月 予 定
竣 工 時 期	: 2011 年 春 予 定

【完成予想図】



【地図】

